

「本態性血小板血症症例におけるアナグレリドの 使用と骨髄線維化との関連についての解析」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2015年4月から2026年3月に山梨大学医学部附属病院血液・腫瘍内科で診療を受けた本態性血小板血症の方へ

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2027年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

2025年2月10日

4. 研究の目的

本態性血小板血症の患者さんのうち数%は、経過中に骨髄線維症に進行することが知られております。その要因は様々であると考えられておりますが、海外では治療薬の一つであるアナグレリド(商品名: アグリリン)を使用するとそのリスクが増加するのではないかとする研究が報告されております。そこで、本研究では、山梨大学医学部附属病院で診療を受けている本態性血小板血症の患者さんを対象として、これまでの治療内容と骨髄線維化への進行とに関連があるかについて調べます。また、線維化が起こった方については、線維化の前後での骨髄生検病理を見比べて、発現が異なるタンパク質があるかについて病理学的に検討を行います。

5. 研究の方法

診療録および本態性血小板増加症の診断時および骨髄線維症に移行したと診断された際の骨髄生検の検体を用いて線維化にかかわる分子の発現などを評価を行います。また血液検査データとの関連を調べます。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報: 診療録に記載されている、性別、年齢、遺伝子変異タイプ、
血液検査結果(血球数や肝機能、腎機能等)

試料: 診療の際に採取されている、骨髄生検検体

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 血液・腫瘍内科学講座

坂本 勇磨

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。

また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、

本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、血液・腫瘍内科学講座の研究費を用いて実施します。

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも不利益が生じることはありません。

担当者の所属・氏名：山梨大学 血液・腫瘍内科学講座 坂本勇磨

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：yusakamoto@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9432